

尾瀬 小淵沢沢登り山行報告

【山 域】 尾瀬

【日 時】 2016.6.5 (日) 【天 候】 晴れ

【ルート】 中ノ岐川 小淵沢

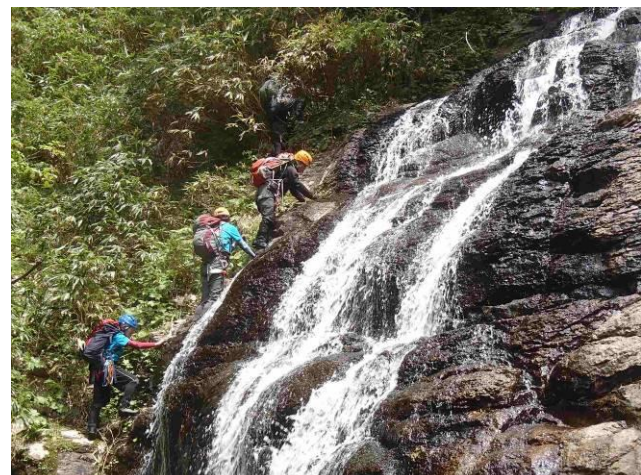
【参加者】 CL 柘植、古関、富樫(富)、井上(里)、加藤 (記録)

【報 告】

(前日の笠科川 タル沢～ワル沢より続く)

今日も快晴、昨日よりは涼しいが、4:00 過ぎには起床する。小淵沢は尾瀬沼の東側、小淵沢田代に源を発する沢である。前日のタル沢～ワル沢よりは滝が多く、登攀的な滝もあり楽しめた。大清水から中ノ岐川の林道を延々と進むと小淵沢橋の手前で荒れた林道に入る。林道と沢が交差した所が入渓点である。赤茶色のナメの中に 4~5m の滝が連続しており、扇型の滝、中間の高い所に棚がある滝、絵に描いたような美しい連瀑帯もあり飽きさせない。15m の滝はロープを利用した。今にも崩れそうな脆い出っ張った岩を掴んで這い上がる。直角に曲がり笹がうるさいトラバースは私のロープマンに笹が食い込んで動かなくなり一瞬焦った。最後の大滝は右から明瞭な踏み跡を高巻いた。源流部はなかなか水が引かず、以前遡行したときに冷麦を食べたことを思い出した。そのまま本流に沿って行くと登山道と平行に進むので笹藪を左側に掻き分けて行くとすぐに登山道に出た。広々とした小淵沢田代には朽ちそうな木道が敷かれ、ミズバショウは巨大化していたが、タテヤマリンドウがたくさん咲いていた。青空の下、登山者は全くおらず、静寂そのものである。日光白根山とその周辺の山々がよく見えた。長蔵小屋周辺は大勢の人々で賑わっていた。キュウリと夏みかんを頂き一息つく。尾瀬沼湖畔に出ると燧ヶ岳が真正面に見えた。下山は三平峠を越えて一之瀬休憩所に立ち寄り、大清水に戻ったのは 15 時を回っていた。帰路昨日泊まった「わたすげの湯」で再度入浴し(前日宿泊した我々は入浴代 650 円を無料にしてくれた)レストラン水芭蕉で美味しい夕食を頂き、帰業した。









以上